

(第3種郵便物認可)

スポーツお出かけ支援

施設の子ら観戦招待

BCリーグ戦 募金開始

NPO法人富山スポーツコミュニケーションズ(TSC)と県共同募金会は、福祉施設のお年寄りや子どもたち、障害者がプロスポーツ観戦を楽しめる機会を増やすため、十三日にプロ野球・BCリーグの富山サンダーバースの試合会場となる富山市民球場で募金を始める。集めたお金は交通費やチケット代に充てる。スポーツ観戦を楽しむ人々の輪を拡大したいと考えた。

外出の機会が少ない人たちにスポーツ観戦の感動や喜びを知ってほしいと「スポーツ観戦お出かけ支援募金」と名付けた。観戦の醍醐味を知る一般の来場者から「喜びのおすそ分け」を受けたいとして

いる。

募金実施に先立ち、六月二十一日、富山サンダーバースの試合が行われた富山市民球場に富山市の児童養護施設・ルンビニ園の子どもたち五十人を招待。子どもたちは、

試合だけでなく選手やマスコットキャラクターのライクターとの交流を楽しんだ。後日、選手が頑張っていたので真剣に応援しました」「ライターの手はふわふわでした」などつづられた感想文や絵が届いた。

と、募金を行うことにした。サンダーバースのホームゲーム会場に募金箱を設置する。今後、他の競技の試合会場でも実施を検討する。

集めたお金はチケット代に充てるほか、バスなどを借り会場まで送り迎えをしたい考え。試合会場では小型レシーバー機器でプレー解説を聞ける「観戦ナビゲーション」を使ってもらう。介護や付き添いが必要な場合は、富山短大の学生らがボランティアで協力する。

十日、富山市民安住町の県共同募金会で同会の出島信一参事やTSCの佐伯仁史理事長らが打ち合わせをした。佐伯理事長は「プロスポーツと福祉を結ぶ懸け橋になれば」と話している。

口座振り込みでも募金できる。北陸銀行県庁内支店(普通)5026190「県共同募金会 スポーツ観戦お出かけ支援募金」まで。



子どもたちの絵や感想文を見ながら募金について話し合う出島参事(右)と佐伯理事長―富山市民安住町の県共同募金会

他の施設の

人たちの要望にも応えたい